



2021年11月9日

各位

会社名 株式会社パイオラックス
 代表者名 代表取締役社長 島津 幸彦
 (コード番号 5988 東証第一部)
 問合せ先 経営管理部長 永島 亨
 (TEL. 045-731-1211)

特別損失の計上および業績予想の修正に関するお知らせ

当社は2022年3月期第2四半期連結会計期間において、減損損失に伴う特別損失を計上いたしましたのでお知らせいたします。また最近の業績動向を踏まえ、2021年5月11日に公表した2022年3月期の連結業績を下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上について

本社ビル解体の決定により将来使用見込みがなくなったことから、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額182百万円を減損損失として計上いたします。

当社では数年前より横浜地区のインフラ整備計画を進めており、その一環として今年度に専門機関による本社ビル(1974年竣工)の調査を実施した結果、劣化の進行が確認されました。この調査結果を踏まえて総合的な対応策を検討いたしました結果、本社ビルを解体することいたしました。

なお、本社移転先や解体計画については、決定次第速やかに開示いたします。

2. 業績予想の修正について

2022年3月期 連結業績予想数値の修正(2021年4月1日～2022年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	58,000	5,400	6,200	4,600	131.75
今回発表予想(B)	55,000	4,400	5,300	3,600	103.11
増減額(B-A)	-3,000	-1,000	-900	-1,000	
増減率(%)	-5.2	-18.5	-14.5	-21.7	
(ご参考)前期実績 (2021年3月期)	50,152	4,018	5,446	3,962	113.49

(業績予想 修正の理由)

新型コロナウイルス感染症の影響に加え、世界的な半導体需要の逼迫を受けて自動車メーカー各社の減産が顕著となり、また材料の供給問題・価格高騰、経済活性化に伴う輸送コストの増加等の影響が今後も継続的に発生するとの前提に基づいて算定しており、現時点で入手可能な販売、生産動向などを勘案して通期の業績予想を見直しましたので修正いたします。なお、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、前述の1. 特別損失を反映しております。

また為替レートにつきましては、1米ドル=110円を想定しております。

(注)本業績予想は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいて作成しており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

以上